

**推進センター
に全員集合!!**
※オンラインはありません

「子どもが自ら遊ぶ」に 大人はどう関わる？

【行政説明】

「放課後児童対策に係る県の推進方針(2024~2028)」

説明: 県教育委員会事務局 生涯学習文化財課
主任社会教育主事 佐々木 透

【講義・演習】

「『子どもが自ら遊ぶ』に大人はどう関わる？」

講師: 一般社団法人 TOKYO PLAY
代表理事 嶋村 仁志 氏
コーディネーター 神林 俊一 氏



一般社団法人 TOKYO PLAY

代表理事 **嶋村 仁志 氏**

1995年、英国Leeds Metropolitan大学ヘルス&ソーシャルケア学部プレイワーク学科高等教育課程修了。1996年より、羽根木プレーパーク、川崎市子ども夢パークなど、冒険遊び場のプレーリーダー(プレイワーカー)を歴任し、国内外で冒険遊び場の立ち上げや子どもの遊びに関わる人の研修や啓発に携わってきた。2010年の任意団体TOKYO PLAY設立時より代表に就任。2005~2011年には、IPA(International Play Association・子どもの遊ぶ権利のための国際協会)東アジア副代表を務め、海外とのネットワークも広い。一男一女の父。



一般社団法人 TOKYO PLAY

コーディネーター **神林 俊一 氏**



いじめ・不登校の最中、世田谷区の冒険遊び場に出会う。2011年、TOKYO PLAYのスタッフとして東京都次世代育成支援事業にて自己肯定感・自尊感情調査にて子ども300人ヒアリング。東日本大震災直後、子どもの心のケアを旗印に「気仙沼あそびーばー」立上げ4年半従事。日本ユニセフ協会と協働し宮城北部部長として仮設住宅付近で移動型遊び場「プレーカー」を展開。およそ8年、伴走支援として住民主体の子ども遊び場づくりをサポートする。現在は、再び東京に籍をおきながら、東京と東北の2拠点生活のもと、災害対策、講演会などで国内各地を飛び回っている。

令和6年6月28日(金)

10:00~15:10

■会 場: 県立生涯学習推進センター

■対 象: 放課後児童クラブ及び放課後子供教室等放課後の居場所関係者 申込みは
県・市町村教育委員会担当者、各市町村保健福祉部局担当者
広域振興局放課後健全育成事業担当者



※実施要項

申込みは
こちらから→



■定 員: **先着 80名**

※50名を超えた場合、2会場(センター内研修室)での実施となります。

■お問合せ: 県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯口2-82-13

Tel:0198-27-4555 Fax:0198-27-4564

